

2023年度 研究業績

査読付き論文

1. Tanji F, Miyamoto S, Iwasawa A, Ohta H, Ono K. Association Between History of Psychiatric Disorder and Degree of Physical Injury Among Suicide Attempters: Secondary Data Analysis in a Japanese Rural Area. S J Prim Care Community Health. 14: 21501319231212317, 2023.
2. 福尾ゆかり, 原広一郎, 大内基司, 加瀬浩二, 目澤守人, 秀野武彦. 精神疾患患者の糖尿病治療における血糖コントロール状況と精神科の現場に求められることー比較調査と糖尿病治療医へのアンケートからー. 精神科治療学39(1): 99-107, 2024

総説

1. Arimitsu T, Fukutomi R, Kumagai M, Shibuma H, Yamanishi Y, Takahashi KI, Gima H, Seto Y, Adachi H, Arai H, Higuchi M, Ohgi S, Ohta H. Designing artificial circadian environments with multisensory cares for supporting preterm infants' growth in NICUs. Frontiers in neuroscience 17:152959-1152959, 2023.
2. 有光威志, 儀間裕貴, 樋口正勝, 熊谷真愉子, 太田英伸. 新生児の能力. 周産期医学 53,1730-1732,2023.
3. 太田英伸.子どもは遊んで昼寝がいい!?. 一般社団法人秋田県作業療法士会ニュース 40,3-4,2023.
4. 永畠朋久. 統合失調症の精神科在宅患者支援管理加算による支援の実際と問題点. 精神科治療学 38(7): 85-90, 2023
5. 永畠朋久. 浅井病院における精神科訪問診療の取り組み. 日精協誌 42(12):36-41, 2023
6. 原広一郎, 粕谷英暢, 加瀬亜衣, 岩佐博人. 抗てんかん発作薬の耐性と離脱. 臨床精神薬理 27(2):159-164, 2024
7. 原広一郎, 原恵子, 青柳京子, 岩佐博人. てんかん医療施設における精神科の意義ーてんかん支援拠点病院と包括的てんかん専門医療施設ー. 臨床精神医学53(2):193-199, 2024

著書など

1. 太田英伸, 熊谷真愉子. 4 視覚の発達と光環境. 新生児の生理 ビジュアルノート (with NEO 別冊 る NEO) メディカ出版, 2023

2. 太田英伸ら.「子どもの発達支援に専門プログラム活用を 秋田県内医師らが研究会」, 秋田魁新報, 秋田市, 2023年9月
3. 岩佐博人, 原広一郎, 青柳京子. 心因性非てんかん性発作 (PNES) 診断には精神医学的視点が必須である. 令和 5 年厚生労働省障害者総合福祉推進事業 「てんかん診療拠点病院等における心因性非てんかん性発作等の実態把握」, 2024年3月

学会発表

1. Ohta, H. Does preterm birth affect sleep development and symptoms related to developmental disorders? Research Topic, The 11th Congress of The Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry, Kyoto, May 2023
2. Seto,Y., Ando, A., Furuse, Y., Cho, K., Ohta, H. Sleep problems and cognitive development in preterm toddler Sleep problems and cognitive development in preterm toddlers. Symposium 27 Developmental Disorders and Sleep Problems, The 11th Congress of The Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry, Kyoto, May 2023
3. Yoshimura, Y., Ikeda, T, Mitani, Y., Naito, N., Ohta, H., Kikuchi, M. Sleep problems and cognitive development in children with autism spectrum disorder. Symposium 27 Developmental Disorders and Sleep Problems, The 11th Congress of The Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry, Kyoto, May 2023
4. 原広一郎, 目澤守人, 福尾ゆかり, 渡邊ゆきの, 中村千賀子, 星文禎, 藤川大輝, 大内基司, 秀野武彦. 精神疾患合併糖尿病症例に対する週1回投与GLP-1受容体作動薬の有用性. 第66回日本糖尿病学会年次学術集会, 鹿児島, 2023/5/11
5. 太田英伸, 安積陽子, 三谷裕介, 安藤明子, 吉村優子, COI stream group (北海道大学病院, 札幌市立病院, 秋田大学大学院, 金沢大学附属病院, 聖路加国際病院, 東邦大学医療センター大森病院, 日本赤十字社医療センター, 三重大学). 早産で生まれた乳幼児は昼間の多動性と夜間睡眠障害をもつ～活動・睡眠特性と精神発達. 日本生理人類学会第84回大会, 福岡, 2023年6月
6. 原広一郎 (大会長). 第17回日本てんかん学会関東甲信越地方会. 九十九里/Web, 2023/6/17
7. 富沢想, 田中麻里, 粕谷英暢, 永瀧朋久, 川合隆世, 原広一郎. 日本語版ワークブックによる認知行動療法 (CBT-ip) で寛解に至った心因性非てんかん性発作の一例. 第17回日本てんかん学会関東甲信越地方会. 九十九里/Web, 2023/6/17
8. 福尾ゆかり, 原広一郎, 大内基司, 目澤守人, 加瀬浩二, 秀野武彦. 認知症患者の糖尿病治療状況と精神科の現場に求められるもの. 第65回日本老年医学会, 横浜, 2023/6/17
9. 安積陽子, 中川真智子, 太田英伸, 大石芳久, 平田倫生, 三谷裕介, 水島正人, 安達裕行, 新井浩和, 安藤明子, 長和俊, 与田仁志, 草川功. 修正年齢1歳6か月における早産出生児の睡眠特性. 第59回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023年7月

10. 熊谷真愉子, 太田英伸, 竹島正浩, 三島和夫, 安達裕行, 高橋勉, COI stream group (北海道大学病院, 札幌市立病院, 秋田大学大学院, 金沢大学附属病院, 聖路加国際病院, 東邦大学医療センター大森病院, 日本赤十字社医療センター, 三重大学). 早産で生まれた乳幼児の活動・睡眠特性と精神発達. 第24回東北児童青年精神医学会, 秋田/Web, 2023年7月
11. 藤田 碧, 荒川佑介, 伊東史エ, 太田英伸, 小野聡子, 加村 梓, 熊谷真愉子, 馬越秋瀬, 八木淳子. 保護者支援プログラムPCIT(Parent Child Interaction Therapy)およびCARE (Child-Adult Relationship Enhancement) の東北地方での実践状況. 第24回東北児童青年精神医学会, 秋田/Web, 2023年7月
12. 太田英伸, 原広一郎, 渡邊昭彦, 森章. 若年発症の統合失調症に対しAIカルテMENTAT®にて入院・外来の連携治療を試みた一例. 第24回東北児童青年精神医学会, 秋田/Web, 2023/7/9
13. 太田英伸. ディベロップメンタルケアにおける顔面認知～顔の認知と表情(感情)の認知～. 第26回教育セミナーミニレクチャー1, 日本新生児成育医学会, 沼津, 2023年8月
14. 太田英伸. 発達障害リスクを持つ乳幼児に対する遠隔療育セラピー～2つの違いから考える外来療育指導のヒント～. 【PG 6】千葉大学共催企画「オンラインメンタル相談支援システムの社会受容性」～「総合知」で創るこころの健康～, 公認心理師の会 2023年度年次総会・研修会, 東京, 2023年8月
15. 中川真智子, 太田英伸, COI stream group (北海道大学病院, 札幌市立病院, 秋田大学大学院, 金沢大学附属病院, 聖路加国際病院, 東邦大学医療センター大森病院, 日本赤十字社医療センター, 三重大学). 極低出生体重児における活動・睡眠特性と精神発達の関係性について. 第45回日本睡眠学会学術集会, 横浜/Web, 2023年9月
16. 太田英伸, 熊谷真愉子, 竹島正浩, 三島和夫, 安達裕行, 高橋 勉, COI stream group (北海道大学病院, 札幌市立病院, 秋田大学大学院, 金沢大学附属病院, 聖路加国際病院, 東邦大学医療センター大森病院, 日本赤十字社医療センター, 三重大学). 早産で生まれた乳幼児の 昼間の活動・夜間睡眠特性と精神発達. 第77回東北精神神経学会総会, 盛岡/Web, 2023年10月
17. 太田英伸. 遊びを1日の生活からデザインする. 特別講演1, 第41回東北・北海道小児科医会連合会総会, 秋田, 2023年10月
18. 青柳京子, 和泉允基, 岡原陽二, 樋口佳則, 原広一郎, 金村英秋, 岩佐博人, 峯清一郎. てんかん支援拠点病院指定およびCOVID-19感染拡大が千葉県てんかん診療に与えた影響. 第56回日本てんかん学会学術集会, 東京, 2023/10/19
19. 原恵子, 高木俊輔, 宮島美穂, 渡邊さつき, 原広一郎. 包括的てんかん専門医療施設における精神科のあり方. 第56回日本てんかん学会学術集会, 東京, 2023/10/20
20. 青柳京子, 岩佐博人, 金村英秋, 原広一郎, 峯清一郎. 施設連携による包括的なてんかん専門医療のあり方. 第56回日本てんかん学会学術集会, 東京, 2023/10/20
21. 田中麻里, 富沢想, 粕谷英暢, 永嶋朋久, 長尾俊宏, 川合隆世, 原広一郎. 心因性非てんかん性発作に対する日本語版ワークブックによる認知行動療法(CBT-ip)の試み. 第56回日本てんかん学会学術総会, 東京, 2023/10/20

22. 三谷裕介, 安積陽子, 中川真智子, 平田倫生, 与田仁志, 大石芳久, 水島正人, 安達裕行, 新井浩和, 安藤明子, 瀬戸康貴, 兼次洋介, 古瀬優太, 長 和俊, 太田英伸. 極低出生体重児の睡眠特性と発達との関連性. 第67回日本新生児成育医学会, 横浜, 2023年11月
23. 下風朋章, 太田英伸, 斎藤朋子, 兼次洋介, 豊島勝昭. アクチグラフ（活動量計）による極低出生体重児の発達予後予測の可能性について. 第67回日本新生児成育医学会・学術集会, 横浜, 2023年11月
24. 兼次洋介, 下風朋章, 太田英伸, 斎藤朋子, 柴崎淳, 星野陸夫, 豊島勝昭. NICU改築前後における 光環境の変化に伴う睡眠活動リズムの検討. 第67回日本新生児成育医学会・学術集会, 横浜, 2023年11月
25. 太田英伸, COI stream group（北海道大学病院, 札幌市立病院, 秋田大学大学院, 金沢大学附属病院, 聖路加国際病院, 東邦大学医療センター大森病院, 日本赤十字社医療センター, 三重大学）. 早産出生の乳幼児の活動・睡眠特性と精神発達. 第64回日本児童青年精神医学会総会, 弘前/Web, 2023年11月
26. 太田英伸. 子どもの遊びを1日の生活からデザインしてみよう!. 第16回赤ちゃん学コロキウム, 同志社大学赤ちゃん学研究センター, Web, 2024年2月
27. 青柳京子, 岩佐博人, 原広一郎, 岡原陽二, 和泉允基, 峯清一郎, 樋口佳則. てんかん外科診療における精神医学・心理学的視点: 精神科との連携構築. 第47回日本てんかん外科学会, 札幌, 2024/2/1
28. 南海貴広, 永島朋久, 原広一郎. 電気けいれん療法を検討したが, 最終的に抗うつ薬2剤が奏功したうつ病の一例. 東京精神医学会第130回学術集会, 東京, 2024/3/9

研究会、講演会、社会活動

1. 原広一郎. てんかんに合併する精神症状とその対応. Otsuka Web Seminar, 千葉/Web, 2023/4/14
2. 原広一郎. イントロダクション てんかんと脳波の関係. 「なんとかなる? なんとかしよう! てんかんプライマリケア<ステップ2>〜てんかん臨床の壁を崩そう! 脳波を楽しむ!〜」, 令和5年度千葉県てんかん支援拠点病院WEB研修会, 市原/Web, 2023/7/22
3. 原広一郎. 職場のメンタルヘルスケア. 第1回千葉県看護協会山武地区部会研修会, 東金, 2023/7/29
4. 太田英伸. 学校・家庭のストレス対応の難しさから発展したいじめと希死念慮〜症例から考えるSOSの出し方・受け方〜. 2023年度教育相談担当等研修会B, 秋田, 2023年8月
5. 太田英伸. 学校・家庭のストレス対応の難しさから発展したいじめと希死念慮〜症例から考えるSOSの受け方〜. 2023年度児童・生徒のSOSを受け止める側の研修会, 横手, 2023年8月
6. 太田英伸. 学校・家庭のストレス対応の難しさから発展したいじめと希死念慮〜症例から考えるSOSの受け方〜. 2023年度こころのケア相談セミナー, 秋田/Web, 2023年8月

7. 太田英伸. 秋田県におけるCARE導入の経過～都市も地方もCAREでITな（みんなCAREで会いてえな）. 第1回東北PCIT・CARE研究会 キックオフ・ミーティング, 秋田/Web, 2023年9月
8. 太田英伸. 睡眠メカニズムの発達と睡眠障害について. 令和5年度 秋田大学公開講座「子どもから高齢者まで～各世代に応じた睡眠力向上作戦」, 秋田/横手/Web, 2023年9月
9. 岩澤敦史, 太田英伸. 振り返りながら考える：自殺対策の展望と課題2023. 秋田弁護士会貧困問題対策委員会講演会, 秋田, 2023年9月
10. 原広一郎. 脳波勉強会（1）脳波検査の意義・歴史・原理. 亀田総合病院脳神経内科 第1回脳波勉強会, 鴨川, 2023/9/29
11. 中西亜紀, 原広一郎. 女性への社会的支援～精神保健福祉士のかかわりからみえてきたこと～. てんかんを知らう！その1 女性とてんかん. 令和5年度千葉県てんかん支援拠点病院市民公開講座, ペリエホール, 千葉市, 2023/9/30
12. 太田英伸. 早産で生まれた児の睡眠発達特性から考えたディベロップメンタルケアと発達支援～サーカディアンリズム, 睡眠, 早期療育の視点から. 愛知母乳の会定期学習会, 名古屋/Web講演, 2023年10月
13. 太田英伸. 胎児・早産児の神経行動発達とDC～早産児の発育に最適な保育環境設計～. 第27回ディベロップメンタルケアセミナー, 東京/Web, 2023年10月
14. 太田英伸. 学校・家庭環境のストレス対応と生物学的特性から生じた希死念慮～いじめを予防する環境調整. 令和5年度精神疾患相談対応研修会, 第6回あきた児童思春期メンタルヘルス研究会 合同, 秋田/Web, 2023年10月
15. 原広一郎. 脳波勉強会（2）モニタージュとレポート記載. 亀田総合病院脳神経内科 第2回脳波勉強会, 鴨川, 2023/10/7
16. 原広一郎. 脳波勉強会（3）正常・境界域・異常所見. 亀田総合病院脳神経内科 第3回脳波勉強会, 鴨川, 2023/10/31
17. 稲村茂, 岩澤敦史, 太田英伸. 自殺未遂者に対する支援体制構築への第一歩 秋田県における自殺未遂者支援の課題共有と今後の展望-. 秋田大学自殺予防総合研究センター研修会, 秋田/Web, 2023年11月
18. 加瀬亜衣, 原広一郎. てんかん地域医療における薬剤師の役割：薬剤師がかかわる処方へのゆくえ. / 金村英秋. 小児てんかん診療における地域・医療連携の重要性. 第21回てんかんプライマリケアセミナー, 千葉/Web, 2023/11/14
19. 原広一郎. 脳波勉強会（4）発作時脳波, アーチファクト. 亀田総合病院脳神経内科 第4回脳波勉強会, 鴨川, 2023/11/21
20. 伊東史ヲ, 太田英伸. 東北でのPCIT・CAREの現状～東北PCIT・CARE研究会の立ち上げ.PCIT・CARE合同研究会, 第44回秋田市医師会校医の会, 東京/Web, 2023年12月
21. 太田英伸. 学校・家庭のストレス対応の難しさから発展したいじめと希死念慮～症例から考えるSOSの受け方. 2023年度 小坂町SOS受け方研修会, 小坂町, 2024年1月

22. 太田英伸. 胎児期から乳幼児期の睡眠の発達的变化～赤ちゃんの発達に最適な眠りと遊びとは？. 乳幼児睡眠アドバイザー 5期生養成カリキュラム, NPO法人 赤ちゃんの眠り研究所, Web, 2024年2月
23. 太田英伸. 睡眠から子どもの1日の遊びをデザインする～赤ちゃんの発達に最適な眠りと遊びとは？. 日赤虹の会, 東京, 2024年2月
24. 太田英伸. 不登校・いじめ・トラウマなどの社会問題と心の健康～スクールカウンセリング・通級・専門委員会. 令和5年度 報道関係者との自殺予防関連勉強会, 秋田県医師会, 秋田, 2024年2月
25. 太田英伸, 斉藤まなぶ, 大里絢子. 初めて学ぶCAREプログラム. 第2回子どもの発達支援研究室公開講座, 弘前大学心理支援科子どもの発達支援研究室, 青森, 2024年2月
26. 原広一郎. (指定発言) てんかんとこころの課題. 「てんかんを知ろう！」その2 てんかん治療を巡る多様な側面, 令和5年度千葉県てんかん支援拠点病院市民公開講座, 市原/Web, 2024/2/17
27. 太田英伸. こころの発達とトラウマ～生きづらさを見つめて～. 2023年度 秋田いのちの電話自殺予防公開講座, 秋田いのちの電話, 秋田, 2024年3月